

令和4年度 福島県 女性活躍・働き方改革促進事業
働き方改革モデルづくり



株式会社サカイクリエート

会社概要

社名	株式会社サカイクリエート
所在地	福島県福島市町庭坂字原中1-10
設立	平成5年8月
従業員数	男性24人 女性147人
業務内容	<ul style="list-style-type: none">・民営職業紹介事業・労働者派遣事業・アウトソーシング事業
経営理念	「革新と創造」「信頼と感謝」



取り組みのきっかけと目標

1. クライアントや派遣スタッフ由来の長時間労働が恒常的に行われているため、時間外労働の削減が課題であった。
2. それぞれの担当業務は把握しているが、仕事が属人化しているため協力体制が取りにくい雰囲気があった。また、個人プレーで業務を進める傾向があり、仕事量の偏りも感じていた。
3. 福島本社と郡山営業所の情報共有にタイムラグが生じていた。

以上のことから、3つの目標に向けて取り組みをスタート

社内連携を強化し、
全体の情報共有が出来るようにする。

業務の見える化をすることで
属人化、偏りを解消し残業を削減する

職場に心理的安全性をつくり
各自のライフを応援する。

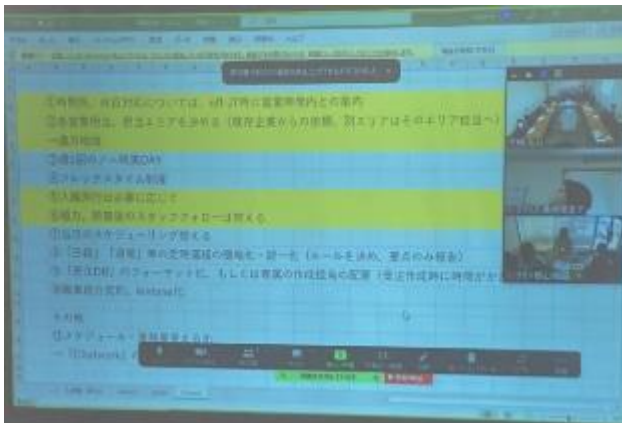
取り組み内容

1. 本社と営業所をZOOMで繋ぎ、現状分析を実施。それぞれが抱えている課題と業務内容を再確認した。
2. 毎朝、各自が当日の予定を確認し、業務の優先順位と所要時間を見積もることで効率的なスケジュールリングを実施。夕方には振替りを行い、予定通りにいったこと、行かなかったことの要因を検証し時間管理を強化した。
3. 個人のスケジュールリングを社内全体で共有し協力体制を構築するため、現状使用しているシステムのスケジュール表で共有化ができるよう検討。



取り組み成果

- a. スケジュールの見える化をしたことで、業務に係る時間を適正に計画出来るようになった。
- b. 営業担当先をエリアごとに見直し。クライアント訪問のための移動時間を削減し、事務作業時間を確保した。
- c. 今までは当たり前だと思い行ってきた手順も、グランドルールの策定や、クライアント、スタッフへの事前の丁寧な説明を行うことで効率化が図れることが分かったため、入職立ち合いやスタッフ面談のあり方を再検討することとした。
- d. 担当クライアントによって事情が異なるためノー残業DAYの導入は不可能だと思っていたが、個別に月4回の定時退社日を目標として定めて全体で共有し、無理のないノー残業DAYを実施することとした。



ブレインストーミングで出された施策案を全員で検討。「できない」「不可能」を禁句とし、「どうすればできるか？」の視点で話し合いを行った。
結果として、難しいと思われた案でも視点を変えれば実現が可能であることを実感。

取り組みから感じたこと

メンバーの感想

今回、働き方改革の全体セミナーを受講したことで、これまで属人化していた業務を全体共有することができました。その結果、「この時間、誰が、どこで、何をやっているか」が明確になったため、どのタイミングで連絡が取りやすいか良く判るようになりました。また、働き方を変えていくには「社長が…、マネージャーが…」と受け身になるのではなく、会社全体で取り組むことが大切と感じました。

事務局から

各々が普段から感じている内容を、今回の取り組みをきっかけに共有することができました。

共有することで、自社の課題や改善する部分が明確化できたと思います。

今回体験した働き方改革のメソッドを参考に、今後も社内共有を定期的に行うことを意識付けしていきたいと感じました。今回は貴重な機会を頂きまして有難うございました。

今後に向けて

引き続きの取り組みとして、今回出た案を含め、まずは出来る事から実行していきたいと思います。

従来から行っている慣習の様なものを変えて行くには、「なぜそれを行っているのか」を明白にし、「どう変えるかでは無く、何故変えるか」を考えながら実行して行くのが大事だと思いました。

働き方改革に取り組んだ3カ月間、取組みメンバーと伴走してくれたミライズの高橋さん、ありがとうございました。